

平成30年度宮城県公立学校 教員採用候補者選考要項

宮城県教育委員会

- 【受付期間】 平成29年4月21日（金）～平成29年5月18日（木）
【出願方法】 原則としてインターネットによる電子申請
【第1次選考】 平成29年7月22日（土）
【第2次選考】 平成29年9月11日（月）～15日（金）のうちの1日（面接1・2，模擬授業）
16日（土）（実技試験）

平成30年度宮城県公立学校教員採用候補者選考（仙台市立学校を除く）を次のとおり行います。

なお、今年度の選考より宮城県と仙台市はそれぞれで採用選考を行うことになりました。仙台市立学校を希望する方は仙台市教育委員会への出願になります。

昨年度からの主な変更点は次のとおりです。

【昨年度からの主な変更点】

① 「地域枠」の設定（小学校出願者のみ）

小学校の一般選考，教職経験者特別選考の中に『地域枠』を設けます。南三陸教育事務所管内に採用後10年間程度勤務できる方を対象とします。

② 「特別支援学校枠」の設定（小学校出願者のみ）

小学校の一般選考，教職経験者特別選考の中に『特別支援学校枠』を設けます。小学校の教諭の免許状と特別支援学校の教諭の免許状，両方を所有している方が出願できます。採用後は主に特別支援学校での勤務となります。

③ 「英語枠」の設定（小学校出願者のみ）

小学校の一般選考，教職経験者特別選考の中に『英語枠』を設けます。小学校英語が教科化されることを見越しての採用となります。小学校の教諭の免許状と中学校，高等学校いずれかの外国語（英語）の教諭の免許状，両方を所有している方が出願できます。

④ 英語志願者に対して資格所有を義務づけ

中学校「英語」，高等学校「英語」を志願する方に対し，下記のいずれかの資格保有を義務づけします。ただし，今年度から3年間は「資格保有が望ましい」とする移行期間とし，平成33年度（平成32年度実施）の教員採用選考から義務づけとします。

ア. 英語検定2級以上 イ. TOEIC 550点以上 ウ. TOEFL(iBT)60点以上 エ. 国連英検B級以上

⑤ 複数免許保有の促進

高等学校「地理歴史」又は「公民」を志願する方に対し，「地理歴史」，「公民」両方の教科の免許状の所有を義務づけします。ただし，今年度から3年間は「資格保有が望ましい」とする移行期間とし，平成33年度（平成32年度実施）の教員採用選考から義務づけとします。

⑥ 高等学校「情報」の採用選考実施

高等学校「情報」の採用選考を実施します。高等学校「情報」の普通免許状と他の教科の高等学校の教諭の普通免許状，両方を所有している方が出願できます。

⑦ 第1次選考の筆記試験をマークシート方式に変更

これまで記述式で実施していた第1次選考の筆記試験を全てマークシート方式に変更します。

⑧ 教職教養を「教養」とし，出題内容を変更

これまでの教育法規全般の出題から，教員として職務を遂行する上で必要な教育に関する法令，理論，知識を問う問題に変更します。併せて，これまで実施していた教職教養を小論文に替えての受験は廃止します。

⑨ 第1次選考で実施していた実技試験を，第2次選考での実施に変更

第1次選考で実施していた，小学校，保健体育，音楽，美術の実技試験を，第2次選考での実施に変更します。それに伴い，栄養教諭Aを除く全ての学校種，教科・科目について第1次選考を東京会場でも実施します。

⑩ 小学校の「水泳」の実技を廃止

これまで第1次選考で実施していた小学校の「水泳」の実技を廃止します。なお，泳力については出願の際の自己申告とします。

⑪ 模擬授業の実施方法の変更

選考当日に提示する複数の教材の中から任意に1つの教材を選択し，授業案を考えた後，模擬授業を行います。

I 募集内容

(1) 一般選考

校種・職種・採用枠等	教科(科目)・要件等	志願に必要な免許状	採用予定人数	
小学校	一般枠	小学校の教諭の普通免許状	180名程度 (うち地域枠5名, 特別支援学校枠10 名, 英語枠15名を 含む)	
	地域枠	小学校の教諭の普通免許状		
	特別支援学校枠	小学校の教諭の普通免許状と特別支援学校の教諭の普通免許状の両方		
	英語枠	小学校の教諭の普通免許状と中学校, 高等学校いずれかの外国語(英語)の教諭の普通免許状の両方		
中学校	一般枠	国語, 社会, 数学, 理科, 技術, 英語	志願教科の中学校の教諭の普通免許状	140名程度
中・高	一般枠	保健体育, 音楽, 美術, 家庭,	志願教科の中学校の教諭, 高等学校の教諭いずれか, あるいは両方の普通免許状	中学校, 高等学校の採用予定人数に含む
高等学校	一般枠	国語, 地理歴史(日本史, 世界史, 地理), 公民, 数学, 理科(物理, 化学, 生物, 地学), 農業, 工業, (機械, 電気・電子, 建築, 工業化学), 商業, 水産(航海系, 食品系), 情報, 福祉, 英語	志願教科(科目)の高等学校の教諭の普通免許状(情報出願者は情報の普通免許状と情報以外の高等学校の教諭の普通免許状の両方)	80名程度
養護教諭	一般枠		養護教諭の普通免許状	15名程度
栄養教諭	栄養教諭A	宮城県内(仙台市立を除く)の公立学校で勤務する本務栄養職員	栄養教諭の普通免許状	若干名程度
	栄養教諭B	栄養教諭A以外の者	栄養教諭の普通免許状	若干名程度

(2) 教職経験者特別選考

校種・職種・採用枠等	教科(科目)等	志願に必要な免許状	採用予定人数	
小学校	一般枠	小学校の教諭の普通免許状	一般選考採用予定人数に含む	
	地域枠	小学校の教諭の普通免許状		
	特別支援学校枠	小学校の教諭の普通免許状と特別支援学校の教諭の普通免許状の両方		
	英語枠	小学校の教諭の普通免許状と中学校, 高等学校いずれかの外国語(英語)の教諭の普通免許状の両方		
小学校, 栄養教諭A以外の全ての校種・職種	一般枠	一般選考に同じ	一般選考に同じ	一般選考採用予定人数に含む

(3) 障害者特別選考

校種・職種・採用枠等	教科(科目)等	志願に必要な免許状	採用予定人数
一般選考の一般枠に同じ	一般選考に同じ	一般選考に同じ	若干名

【留意事項】

- * 採用予定人数は, 平成29年4月14日現在の見込数であり, 実際の採用人数とは異なる場合があります。
- * 小学校の地域枠志願者は, 第一次選考, 第二次選考共に地域枠内での選考から漏れた場合, 小学校の一般枠での選考対象となります。
- * 小学校の特別支援学校枠志願者は, 第一次選考, 第二次選考共に特別支援学校枠内での選考から漏れた場合, 小学校の一般枠での選考対象となります。
- * 小学校の英語枠志願者は, 第一次選考, 第二次選考共に英語枠内での選考から漏れた場合, 小学校の一般枠での選考対象となります。
- * 地域枠, 特別支援学校枠, 英語枠の併願はできません。
- * 保健体育, 音楽, 美術, 家庭については, 中学校, 高等学校の区別なく一括しての採用となります。
- * 養護教諭については, 校種の区別なく一括しての採用となります。
- * 栄養教諭については, A・Bいずれの出願者も採用後の配置は県内の義務教育諸学校もしくは県立学校となります。
- * 特別支援学校への採用を希望する場合でも, 小学校, 中学校, 中・高, 高等学校, 養護教諭, 栄養教諭のいずれかを選んでの出願となります。
- * 日本国籍を有しない者を採用する場合は, 『期限を付さない講師』としての任用となります。

Ⅱ 出願資格

(1) 一般選考

※ 次の1)～4)に掲げる事項のすべてに該当する者

- 1) 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者。
- 2) 平成30年4月1日時点で有効である志願する採用校種及び教科(科目)の普通免許状を有する者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者。
 - ア. 小学校の地域枠を志願する場合は、南三陸教育事務所管内に採用後10年間程度勤務できる者。
 - イ. 小学校の特別支援学校枠を志願する場合は、小学校の普通免許状と特別支援学校の普通免許状の両方を有する者又は平成30年3月31日までに両方を取得見込みの者。
 - ウ. 小学校の英語枠を志願する場合は、小学校の普通免許状と中学校、高等学校いずれかの外国語(英語)教諭の普通免許状の両方を有する者又は平成30年3月31日までに両方を取得見込みの者。
 - エ. 小学校を志願する場合は、クロール又は平泳ぎのいずれかの泳法で25m以上泳ぐことができる者。
 - オ. 中学校英語、高等学校英語を志願する場合は、以下のいずれかの資格を有していることが望ましい。
 - ① 英語検定2級以上
 - ② TOEIC550点以上
 - ③ TOEFL(iBT)60点以上
 - ④ 国連英検B級以上現在資格を有している者は、出願時の電子申請にて「取得資格等」の「資格名」欄に必ずその所有資格および級・スコアを記入すること。なお、平成33年度(平成32年度実施)の教員採用選考からは上記のいずれかの資格を有することを出願資格とします。(資格の級・スコアについては今後変更の予定があります)
 - カ. 高等学校の地理歴史、公民を志願する場合は、地理歴史と公民の普通免許状の両方を有することが望ましい。なお、平成33年度(平成32年度実施)の教員採用選考からは上記の免許の両方を有することを出願資格とします。
 - キ. 高等学校の水産(航海系)を志願する場合は、水産又は商船の普通免許状に加え、船舶職員及び小型船舶操縦者法に定める3級以上の海技士資格(航海)を有している者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者。

※出願時の電子申請にて、「取得資格等」の「資格名」欄に必ず航海系または食品系の希望を記入すること。
また、航海系志願者は「〇級海技士資格(航海)」取得もしくは取得見込みのいずれかを記入すること。
 - ク. 高等学校の情報を志願する場合は、情報の普通免許状と他の教科の高等学校の普通免許状の両方を有する者又は平成30年3月31日までに両方を取得見込みの者。なお、採用後は情報を主に担当しますが、情報以外の所有免許状の授業を担当することもあります。
- 3) 昭和33年4月2日以降に生まれた者。(平成30年4月1日現在の年齢が60歳未満の者)
- 4) 県内どこにでも勤務できる者。

(2) 教職経験者特別選考

※ 一般選考の出願資格1)～4)に加えて、次の1), 2)のうちいずれかに該当する者

- 1) 平成24年4月1日から平成29年5月18日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校で常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が通算24月以上ある者で、出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の常勤講師(注1)、非常勤講師(注1)、実習助手、寄宿舎指導員、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舎指導員のいずれかとして勤務している者。(休業等の者を除く)
- 2) 出願時に学校教育法第1条に定められた学校(注2)の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭に継続して24月以上勤務している者。(休業等の者を除く)
 - (注1) 常勤講師の中には、宮城県内の市町村が小・中学校で臨時的任用をしている教育職員(採用条件として教員の免許状の所有を定め、勤務時間が1週あたり38時間45分以上の者)を含みます。また、非常勤講師については、採用条件として教員の免許状の所有を定めているものとします。
 - (注2) 「出願時に学校教育法第1条に定められた学校」の本務教員は、受験予定の学校種と同一の学校種であること。例えば、現在小学校に勤務している本務教員が、中学校区分に出願することはできません。
 - (注3) 「教職経験者特別選考」の対象者であっても「一般選考」に出願は可能ですが、「一般選考」と「教職経験者特別選考」に同時に出願することはできません。

(3) 障害者特別選考

※ 一般選考の出願資格1)～4)に加えて、次の1), 2)の両方に該当する者

- 1) 身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの者。
- 2) 自力による通勤及び職務遂行が可能な者。

【留意事項】

- * 「障害者特別選考」の対象者であっても「一般選考」に出願は可能ですが、「一般選考」と「障害者特別選考」に同時に出願することはできません。
- * 「障害者特別選考」は宮城県内会場での実施となります。

Ⅲ 出願手続

(1) 出願方法, 出願期間

- 1) 出願方法：出願は、原則として「電子申請」です。
宮城県教育庁教職員課の Web ページからの出願になります。申請にあたっては宮城県教育庁教職員課 Web ページ上の「電子申請マニュアル」等を参照し、専用入力フォームに正確に入力してください。
URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>
 - 2) 申し込みの際に取得した「到達番号」と「問い合わせ番号」は登録状況の確認の際に必要です。
 - 3) 後日、「採用願書」（受験番号が付されたもの）と「出願者名票」（受験番号が付されたもの）を印刷する必要がありますので、印刷が可能な環境にある**パーソナルコンピューター**から出願してください。
 - 4) 出願期間：平成29年4月21日（金）午後1時～平成29年5月18日（木）午後5時 までに出願してください。（電子申請は平成29年5月18日（木）午後5時までに完了しないと受付できません）
- (注) 電子申請が困難な場合は、宮城県教育庁教職員課（022-211-3637）へ問い合わせをしてください。

(2) 提出書類 (③, ④, ⑤, ⑥, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰)については該当者のみ提出となります)

時期	提出する書類等	注意事項
出 願 時	① 採用願書	<p>→ 教職員課のWebページ上の入力フォームに入力してください。</p> <p>→ 様式を教職員課のWebページからダウンロードし、<u>電子申請前に作成した後</u>、電子申請を行ってください。</p> <p>→ 教職経験者特別選考及び栄養教諭Aに出願する場合に提出してください。^{(注1) (注2)}</p> <p>→ 障害者特別選考に出願する場合のみ、郵送により宮城県教育庁教職員課へ提出してください。提出の締め切りについては平成29年5月18日(木)(当日消印有効)とします。</p> <p>→ 大学院修士課程への進学予定もしくは大学院修士課程在学者で採用候補者名簿記載の猶予(9頁参照)を希望する場合に提出してください。^(注1)</p> <p>→ 受験上何らかの配慮を必要とする場合に提出してください。^(注1)</p>
	② 履歴書(様式第6号)	
	③ 人物証明書	
	④ 身体障害者手帳の写し	
	⑤ 名簿記載猶予願い	
	⑥ 配慮事項申出書	
第 1 次 選 考 時	⑦ 採用願書(様式第5号)	<p>→ 電子申請システムから交付された採用願書(受験番号が付されているもの)を各自印刷し、写真を貼付したものを第1次選考当日に提出してください。^(注3)</p> <p>→ 出願時に提出した履歴書を各自印刷し、押印したものを第1次選考当日に提出してください。^(注3)</p> <p>→ 電子申請システムから交付された出願者名票(受験番号が付されているもの)を各自印刷し、採用願書と同一の写真を貼付したものを第1次選考当日に持参してください。^(注3)</p> <p>→ 「切手貼付用紙」は、Webページ上の「各種様式」からダウンロードしたものを各自印刷し、所定の切手を貼付したものを第1次選考当日に提出してください。切手は必ず、92円切手1枚、280円切手1枚を貼付してください。</p>
	⑧ 履歴書(様式第6号)	
	⑨ 出願者名票	
	⑩ 切手貼付用紙	
第 2 次 選 考 時	⑪ 最終学校の卒業証書の写し、又は最終学校の長の卒業証明書又は修了証明書	<p>→ 卒業見込の者は「卒業見込証明書」を、第2次選考当日に提出してください。</p> <p>→ 免許状は、所有するすべての免許状の写しを1通ずつ第2次選考当日に提出してください。 なお、婚姻等により免許状記載の名字が変更されている場合には、戸籍抄本等改姓の内容がわかる書類を提出してください。</p> <p>→ 「切手貼付用紙」は、Webページ上の「各種様式」からダウンロードしたものを各自印刷し、所定の切手を貼付したものを第2次選考当日に提出してください。切手は必ず、92円切手1枚、280円切手1枚を貼付してください。</p> <p>→ 「水産」の航海系に出願する者は、3級以上の海技士資格を有することを証明する免状の写しを第2次選考当日に提出してください。</p> <p>→ 「栄養教諭」に出願し、認定講習等を受講し栄養教諭の教諭の免許状を取得する予定の者は、⑫に替えて栄養教諭の教諭の免許状取得計画書(第1次選考結果通知時に指示されたもの)と⑮を第2次選考当日に提出してください。</p> <p>→ 実技試験又は面接等において、何らかの配慮を必要とする場合には、事前に宮城県教育庁教職員課へ電話連絡の上、郵送により提出してください。提出の締め切りについては平成29年9月4日(月)(当日消印有効)とします。</p> <p>→ 第1次選考結果通知時に指示されたもの。</p>
	⑫ 教育職員普通免許状の写し(A4判)又は免許状取得見込証明書(なお、これまでに免許更新講習修了確認、延期又は免許の申請をした者は、当該証明書の写しを併せて提出すること)	
	⑬ 切手貼付用紙	
	⑭ 海技士免状の写し	
	⑮ 管理栄養士又は栄養士の免許状の写し(「栄養教諭」に出願し、認定講習等を受講し免許状を取得する予定の者)	
	⑯ 配慮事項申出書	
	⑰ その他	

- (注1) 当該書類を提出する際は、Webページ上の「各種様式」からダウンロードしたものを各自印刷し、宮城県教育庁教職員課へ郵送してください。出願時に提出する書類の締め切りについては**平成29年5月18日(木)(当日消印有効)**とします。
- (注2) 「人物証明書」は、出願者本人の記入欄に出願者本人が記入の上、所属長に作成及び送付を依頼してください。提出方法は、出願者の所属長からの簡易書留(親展)による郵送のみとします。
- (注3) 「採用願書」及び「出願者名票」については、7月中旬までに電子申請システムを通じて受験番号及び受験会場を記載の上、各受験者へ交付しますので、各自で印刷してください。

- * 提出された書類等は返却しません。
- * 記載内容に虚偽の内容があった場合は受験を認めません。また、合格を取り消す場合があります。
- * **郵送による提出物等の送付先**

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1
宮城県教育庁教職員課 教員任用班 教員採用担当

IV 選考日時・選考内容・会場等

(1) 第1次選考

- 1) 日時：平成29年7月22日(土)
- 2) 内容：ア. 一般選考・・・適性検査, 筆記試験1(専門教養), 筆記試験2(教養)
イ. 教職経験者特別選考, 栄養教諭A・・・適性検査, 筆記試験1(専門教養), 集団面接
ウ. 障害者特別選考・・・適性検査, 筆記試験1(専門教養), 筆記試験2(教養)
- 3) 会場：第1次選考の会場については、下記のとおりです。
なお、出願者各自の受験会場については、「出願者名票」を出願者へ交付する際に通知します。

宮城県内会場	住所
宮城県仙台第一高等学校	〒984-8561 宮城県仙台市若林区元茶畑4
宮城県仙台二華中学校・高等学校	〒984-0052 宮城県仙台市若林区連坊1-4-1
宮城県工業高等学校・宮城県第二工業高等学校 (同一敷地内)	〒980-0813 宮城県仙台市青葉区米ヶ袋3-2-1
宮城県自治会館	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-2-3
東京会場	住所
東京海洋大学品川キャンパス	〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

(注) 東京会場は出願の際、東京会場での受験を選択した場合のみ東京会場で受験できます。なお、東京会場では栄養教諭A、障害者特別選考を除いた選考を行います。

4) 日程及び選考内容

月日	時刻	内容	注意事項
7 月 22 日	9:00 ~ 9:30	受付(入室)	① 筆記試験1(専門教養), 筆記試験2(教養)共にマークシートの試験になります。 ② 筆記試験1(専門教養)は教員として各校種・職種・教科(科目)で必要とされる専門知識等を問う問題を出題します。 ③ 筆記試験2(教養)は教員として職務を遂行する上で必要な教育に関する法令, 理論, 知識を問う問題を出題します。 ④ 高等学校の地理歴史, 理科, 水産, 工業の筆記試験1は当該教科すべての領域にわたる共通問題と各自の専門領域の問題から構成されます。 ⑤ 中学校英語及び高等学校英語の筆記試験1で実施していたリスニングテストは実施しません。 ⑥ 教職経験者特別選考・栄養教諭Aの集団面接についての詳細(面接時間・場所等)は第1次選考当日, 各会場で指示をします。
	9:40 ~ 9:50	諸注意・諸連絡	
	10:00 ~ 10:30	適性検査	
	11:00 ~ 12:00	筆記試験1 (専門教養) 各校種, 各教科・科目に関する専門分野	
	12:00 ~ 12:30	採用願書等の提出	
	12:30 ~ 13:20	昼食・休憩	
13:30 ~ 14:30	筆記試験2 (教養)		
13:30 ~ 17:00	集団面接 (教職経験者特別選考出願者及び栄養教諭A出願者)		

5) 携行品

- ① 出願者名票(受験番号が付されたものに, 所定の写真を貼付してあるもの)
 - ② 筆記用具(B又はHBの鉛筆, 消しゴム, 文字や図等のない無地の下敷き等)
 - ③ 上履き(必要か否かについては会場毎に異なるので, 「受験上の注意」で必ずご確認ください。)
 - ④ 昼食
- * 携行品について, 後日 Web ページ上で改めて連絡しますので, 必ずご確認ください。

(2) 第2次選考 (第1次選考合格者についてのみ行います)

- 1) 日時：平成29年9月11日(月)～15日(金)までの指定する1日で面接、模擬授業を行います。また、実技のある校種、教科は9月16日(土)に実技試験を行います。
- 2) 内容：面接1, 面接2, 模擬授業, 実技試験(実技試験のある校種, 教科のみ)
- 3) 会場：宮城県総合教育センター 〒981-1217 宮城県名取市美田園2-1-4
 (面接1, 面接2, 模擬授業, 「小学校」, 「家庭」, 「中学校英語」, 「高等学校英語」, 「福祉」の実技)
 宮城県名取北高等学校 〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103
 (「保健体育」, 「音楽」, 「美術」の実技)
- 4) 日程及び選考内容：日程については個人毎に異なるので別途本人あて通知します。
 - ① 面接1, 面接2：複数の面接委員による面接を1人につき2回行います。
 - ② 模擬授業：選考当日, 出願した学校種, 教科(科目)に関して提示する複数の教材の中から任意に1つの教材を選択し, 模擬授業を行います。指定した時間内で授業案を考えた後, 模擬授業(15分程度), 自己評価, 面接官との質疑応答等を行います。養護教諭については「保健」, 栄養教諭については「食に関する指導」の授業を行います。
 - ③ 実技試験：下記のとおりとします。

採用校種	教科	試験内容	◎注意事項 ・ ◆準備物
小学校		1 ボール運動 (基本的動作) 2 マット運動 3 鍵盤楽器(電子ピアノ等) 小学校第3学年以上の歌唱教材から任意の1曲を選び, 伴奏曲を弾きます。	◆運動着(15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し, 胸と背中にそれぞれ1枚ずつ縫い付けてください) ◆屋内用運動靴 ◎楽譜を持参してもよい。
中・高	保健体育	【共通種目】 ・水泳, 陸上競技, 器械運動(マット), ダンス 《球技選択》 以下の種目から事前申請した1種目 ・バスケットボール ・バレーボール 《武道選択》 以下の種目から事前申請した1種目 ・柔道 ・剣道	◎《球技選択》及び《武道選択》の中から各1種目を選択し, 採用願書の「受験教科(科目)」の欄に選択した組合せを入力(記入)してください。 ◆運動着(15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し, 胸と背中にそれぞれ1枚ずつ縫い付けてください) ◆運動靴(屋内用と屋外用を持参) ◆水着, 水泳帽 ◆柔道選択者：柔道着(15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し, 柔道着の背中に縫い付けてください) ◆剣道選択者：防具・竹刀・剣道着は不要です。
	音楽	【共通試験】 1 8小節程度の当日指定された旋律に伴奏をつけて, 母音唱又は階名唱とピアノにより弾き歌を行います。なお, 旋律にはコードネームがついているものとします。 2 以下にあげる曲から当日指定の1曲を自分でピアノ伴奏をしながら歌唱します。 ・「赤とんぼ」(三木露風作詞/山田耕筰作曲) ・「浜辺の歌」(林古溪作詞/成田為三作曲) ・「Caro mio ben」(作詞者不詳/G.ジョルダニ作曲) 《選択A》 ピアノ, 管, 弦, 打楽器のうちの楽器で任意の1曲を演奏します。 《選択B》 歌曲, アリアから任意の1曲を演奏します。	◎選択A, 選択Bのいずれかを選択し, 採用願書の「受験教科(科目)」の欄に「音楽(選択A)」又は「音楽(選択B)」のいずれかを選択し入力してください。 ◎【共通試験】2については, 調は問いません。原語で歌唱してください。また, ピアノ伴奏については, 教科書に記載されている程度とします。 ◎《選択A》及び《選択B》で伴奏を必要とする場合は, 伴奏者を同伴してください。 ◎《選択A》でピアノ以外の楽器を使用する場合は各自持参してください。 ◎【共通試験】2, 《選択A》及び《選択B》については, 楽譜を持参してもよい。 ◆上履き
	美術	・絵画表現 ※ 時間は180分	◎課題は当日提示します。 ◆絵画用具一式(絵具は水彩絵具, アクリル絵具いずれも可), 画用鉛筆, 消しゴム ◆上履き
	家庭	・食物(調理実習) ・被服(被服製作)	◎被服及び食物実技の両方を実施します。 ◆裁縫セット, エプロン, 三角巾, 手拭き用タオル
中学校 高等学校	英語	・示された資料の朗読及び英語による面接	
高等学校	福祉	・介護実習	◆運動着 ◆屋内用運動靴

5) 携行品

- ① 出願者名票（第1次選考時の受付印のあるもの）
- ② 筆記用具
- ③ 昼食
- ④ その他（各教科・科目で実技試験受験時に必要な物）

* 携行品について、後日 Web ページ上で改めて連絡しますので、必ずご確認ください。

V 選考基準

(1) 第1次選考

- ・ 筆記試験1、筆記試験2及び集団面接の結果を選考資料とし、願書・履歴書の記載内容及び人物証明書の記載内容を勘案して総合的に選考します。
- ・ 筆記試験1、筆記試験2及び集団面接のいずれかにおいて著しく低い成績があった場合には、不合格とすることがあります。

1) 筆記試験1（専門教養）

校種・教科（配点）		主な評価の観点
小学校	（100点）	・ 小学校教員として必要な専門的知識や教養、指導力等を総合的に身に付けているか。 ・ 教員として必要な教科科目の専門的知識や指導力等を身に付けているか。
中学校	国語・社会・数学・理科・技術・英語 （100点）	
中・高	保健体育・音楽・美術・家庭（100点）	
高等学校	国語・公民・数学・農業・商業・情報・福祉・英語 （100点） 地理歴史・理科・工業・水産 （共通40点・専門60点）	
養護教諭	（100点）	・ 養護教諭や栄養教諭として必要な専門的知識や指導力等を身に付けているか。
栄養教諭	（100点）	

2) 筆記試験2（教養）

選考内容・（配点）	主な評価の観点
教養（100点）	・ 教員として必要な教養が習得できているか。

3) 集団面接（教職経験者特別選考受験者及び栄養教諭A受験者）

選考内容・（評価区分）	主な評価の観点
数人1組による集団面接（AからCまでの3段階評定を行う）	・ 教員として必要な資質を備えているか。

(2) 第2次選考

- ・ 個人面接（適性検査も含む）、模擬授業及び実技試験の結果を選考資料とし、第1次選考の成績、願書・履歴書の記載内容及び人物証明書の記載内容を勘案して総合的に選考します。
- ・ 個人面接（適性検査も含む）、模擬授業及び実技試験のいずれかにおいて著しく低い評価があった場合には、採用候補者名簿に登録しません。
- ・ 合格者は採用候補者名簿に登録します。

1) 模擬授業及び個人面接

選考内容	評価区分	主な評価の観点
模擬授業	・ 模擬授業を総合的に評価し、AからDまでの4段階評定を行います。	・ 児童生徒をひきつける魅力や、児童生徒を導く資質と能力、コミュニケーション能力等を備えているか。 ・ 児童生徒の主体的な学びを支える授業づくりをしているか。 ・ 教科科目の専門性を備えているか。
面接1 ・ 面接2	・ 人物を総合的に評価し、AからDまでの4段階評定を行います。	・ 教育への情熱や学び続ける意欲等、教員としてふさわしい資質と能力を備えているか。 ・ 心身共に健康であるかどうか。 ・ ものの見方や考え方が教育公務員としてふさわしいかどうか。

2) 実技試験：実技試験を行う全ての校種・教科についてAからEまでの5段階評価を行います。

校種・教科・実技内容		主な評価の観点
小学校	・ボール運動 ・マット運動 ・鍵盤楽器	・指導する上で必要な実技動作，運動能力を備えているか。
中・高	保健体育	・共通種目 ・球技選択 ・武道選択
	音楽	・共通試験 ・選択A又は選択B
	美術	・絵画表現
	家庭	・食物 ・被服
中学校 高等学校	英語	・朗読及び英語による面接
高等学校	福祉	・介護実習

VI 選考結果

(1) 第1次選考結果：平成29年 8月21日(月) 付けで郵送します。

(2) 第2次選考結果：平成29年10月27日(金) 付けで郵送します。

(3) 選考結果の情報提供

第1次選考結果及び第2次選考結果については、受験者全員に対して上記の日程で郵送します。なお、総合成績ランクについては下表のとおりとします。

- 第1次選考結果：筆記試験1(専門教養)，筆記試験2(教養)及び集団面接の評定，並びに選考結果の総合成績ランク
- 第2次選考結果：模擬授業，個人面接及び実技試験の評定，並びに選考結果の総合成績ランク

第1次選考	
ランク	結果
A	合格者
C	不合格者の中で，上位である
D	不合格者の中で，中位である
E	不合格者の中で，下位である

第2次選考	
ランク	結果
A	採用候補者名簿に登載される者
C	不合格者の中で，上位である
D	不合格者の中で，中位である
E	不合格者の中で，下位である

(4) Webページへの掲載

選考結果については、本人あての結果通知のほか、受験者への情報サービスの一環として、宮城県教育庁教職員課のWebページに合格者の受験番号を掲載します。

なお、正式な発表は本人あての結果通知書によるものとします。

- URL：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>
- 掲載期間：第1次選考結果 平成29年 8月21日(月) 午前10時～8月29日(火) 午後4時
第2次選考結果 平成29年10月27日(金) 午前10時～11月 6日(月) 午後4時

VII 名簿登載・採用

- 第2次選考の結果で合格した者は「平成30年度宮城県公立学校教員採用候補者名簿」に登載し、採用内定とします。
- 名簿登載の有効期間は、平成30年4月1日から1年間とします。なお、平成30年3月31日までに免許状が取得できない者は、登載を取り消します。
- 教員免許更新制において、教員免許状の更新等をせず、平成30年4月1日に効力を失っている場合は、名簿登載を取り消します。

VIII 大学院修士課程進学予定者・大学院修士課程1年在籍者等への採用候補者名簿登載猶予について

- 第2次選考の結果合格した者のうち、国内の大学院修士課程(通信制課程を除く)又は教職大学院へ進学する予定、もしくは在籍中の者に対して、大学院修士課程修了までに、合格した出願区分の校種・教科等の専修免許状を取得することを条件に採用候補者名簿への登載を猶予します。

- 名簿登載猶予の手続きは次のとおりとします。
 - 1) 名簿登載猶予を希望する者は、出願時に「名簿登載猶予願い」を宮城県教育庁教職員課へ郵送してください。書類提出の締め切りについては平成29年5月18日(木)(当日消印有効)とします。なお、期日までに提出のない者については、猶予を認めません。
 - 2) 第2次選考の結果合格した者で、1)の書類を提出した者は、第2次選考合格通知書に同封する「名簿登載猶予申請書」、「大学院合格通知書の写し」又は「大学院在学証明書」を平成29年12月15日(金)(当日消印有効)までに宮城県教育庁教職員課へ郵送してください。
 - 3) 宮城県教育委員会が名簿登載猶予を認めた場合、該当者に許可書を郵送します。
 - 4) 大学院修士課程1年在籍者又は教職大学院1年在籍者は、平成31年度採用候補者名簿に登載します。大学院修士課程又は教職大学院への進学予定者は、平成32年度採用候補者名簿に登載します。
- 名簿登載期間は1年間とします。大学院修士課程1年在籍者又は教職大学院1年在籍者にあつては平成31年3月31日までに、大学院修士課程進学予定者又は教職大学院進学予定者にあつては平成32年3月31日までに、相当の専修免許状を取得できない場合には名簿登載を取り消します。

IX 勤務条件等

(1) 給与（平成29年4月1日現在）

- 初任給

区 分	小・中学校	県立高校・県立特別支援学校
大学院（修士）修了	242,304円	242,204円
大学卒	218,712円	218,712円
短大卒	194,908円	191,896円

※上記の初任給については教職調整額（4%）および義務教育等教員特別勤務手当を含むものとなります。

- 前歴加算
民間企業等における職歴がある場合には、この初任給に一定の基準による加算があります。
- 諸手当
地域手当(初任給+教職調整額の4.5%~1.5%)、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当(年間4.3ヵ月)などがそれぞれの要件により支給されます。

(2) 勤務時間等

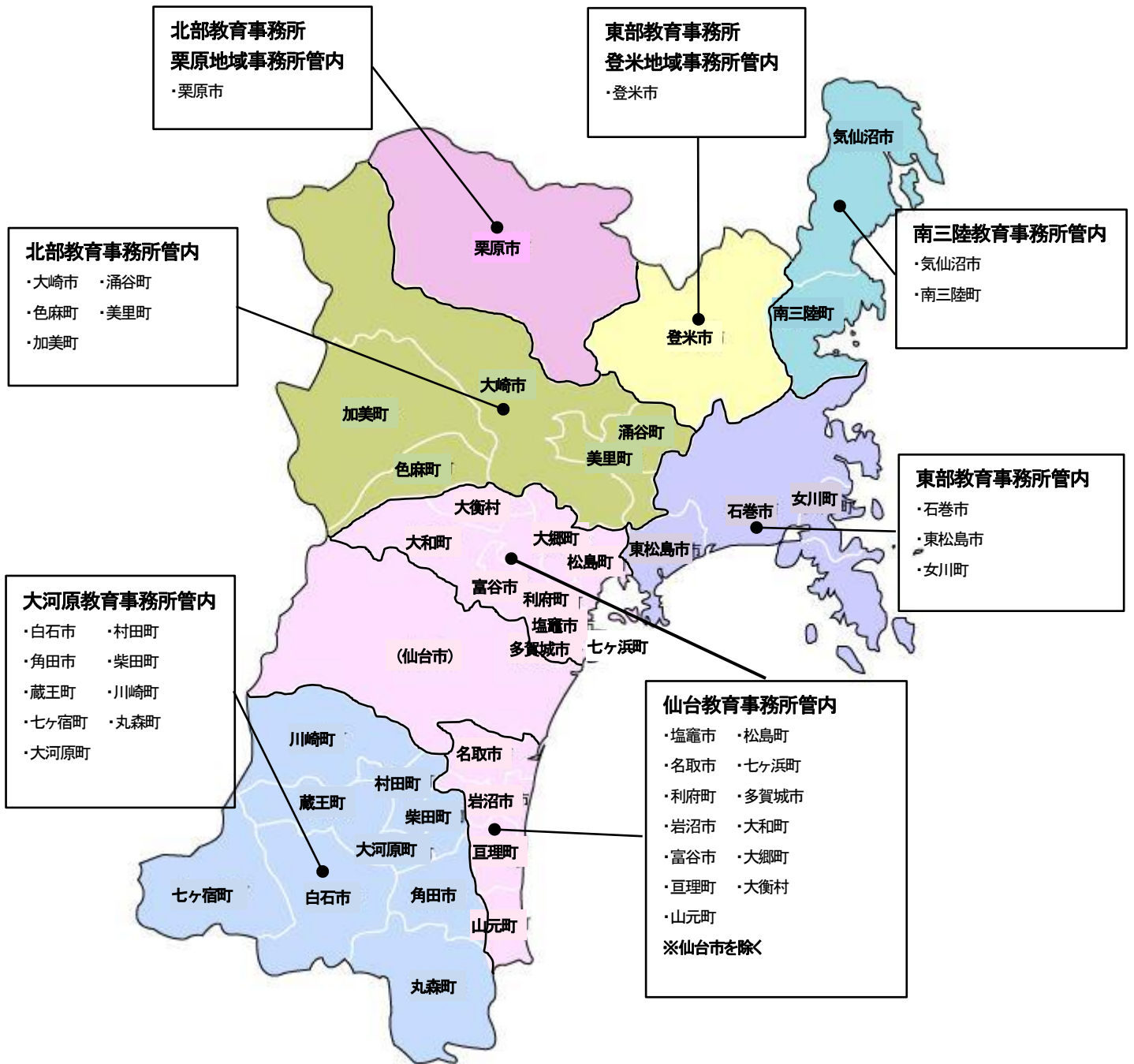
- 勤務時間 1週間について38時間45分
- 休日等 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 休暇等 年次有給休暇（4月1日採用の場合は年間15日）、産前産後休暇、育児休業 等

X その他

▪ 留意点

- 1) 出願書類受付後に受験する校種・職種及び受験教科（科目）を変更することは認めません。また、第1次選考及び第2次選考いずれにおいても受験科目等のうち1つでも受験しなかった場合には、選考の対象外とします。
- 2) 第1次選考において、所定の写真を貼付した出願者名票を持参しなかった者については、原則として受験を認めません。（出願者名票に関する問い合わせは**7月13日(木)の午後5時まで**受け付けます）
- 3) 第2次選考において、所定の写真を貼付し、第1次選考時の受付印のある出願者名票を持参しなかった者については、原則として受験を認めません。
- 4) 第1次選考の筆記試験1及び筆記試験2において、開始時刻30分以降は入室を認めません。（公共交通機関の遅れによる場合を除きます）
- 5) 第2次選考の実技試験において、運動着等の実技試験に必要なものを忘れた場合は、原則として受験を認めません。
- 6) 荒天、災害等の緊急の事態により、教員採用選考の日程を変更する場合や、実施方法等に関して何らかの変更が生じた場合には、宮城県教育庁教職員課のWebページにてお知らせします。

宮城県内の教育事務所担当市町村別略地図



問い合わせ先
 宮城県教育庁教職員課 TEL 022-211-3637
 (土日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分)
 * 宮城県公立学校教員採用候補者選考に関する情報や、台風等自然災害による採用選考の実施に関する情報は以下のWebページにてお知らせします。
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>